これからの自己改革（一例）

地域農業の振興のため、組合員の所得向上と、利便性向上を目指します。

当ＪＡでは商社を通じて香港やオーストラリアへ米を輸出しています。海外への販路拡大に向け、五所川原市梅沢地区に新たなライスセンターと、輸出にも対応した精米施設を建設する予定です。

組合員の「声」を反映させるため、営農と販売を柱とする全部署を網羅した部門横断会議を開催し、さらなる自己改革と課題改善を進めてまいります。

ＪＡごしょつがる概況

（平成30年12月現在）

組合員数	6,342名
役員数	18名
職員数	170名
出資金	21億5,499万円

店舗一覧

	電話	住所
本店	27－3300	五所川原市大字野里字奥野100番地
北支店	39－5500	五所川原市大字沖飯詰字帯刀364番地４
三好支店	36－2201	五所川原市大字鶴ヶ岡字川袋38番地４
五所川原支店	35－2416	五所川原市字川端町11番地７
七和支店	29－2115	五所川原市大字持子沢字笠野前235番地３
木造総合支店	42－9114	つがる市木造森山３番地２

～ 未来へ翔（はばた）く農協 ～

ごしょつがる農業協同組合

わもなも組合員だっきゃ！

～自己改革のススメ～

耕そう、大地と地域のみらい。

JAごしょつがる では、

所得増大　生産拡大　地域活性

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の
３つの大きな目標を達成するため、
「創造的自己改革」に取り組んでいます。

ＪＡ自己改革実施状況

▲体験を通じて子ども達に食の大切さと地元の農業を伝えています。

▼地域農業の困難にも率先して立ち向かいます。

▲組合員との触れ合いを通じて、問題解決を模索します。

▶農家の収入増加と未来の地域農業のために苗の安定供給に取り組んでいます。

食と農を大切にし、地域に根差した協同組合として

ＪＡは「農業協同組合」ですから、一番大切にしているのは「農業」です。農業者の収入を増やす、地域の農業をより元気にすることは、ＪＡの大切な役割です。

そしてＪＡは、この「農業」を広い意味での「農」、たとえば食べ物や農村のくらし、環境なども含めた広い意味でも考えています。

◀青色申告を楽にできるように、パソコン教室を開催しました。

▼新たなＪＡブランド作物づくりに力を入れています。

▲地元の人々とともに、改革を進めていきます。

▼新たな農法にも進んでチャレンジしています。

１．農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称
職員による組合員への訪問活動

取り組みの目的・コンセプト
ＪＡの各事業の告知の他、組合員の意見・提案・要望の聞き取り。

参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	×
	地域住民	×		

取り組み内容
職員による組合員への訪問活動の実施 ○訪問者・・・職員 ○訪問回数・・・毎月１回 ○訪問先・・・組合員（６千戸） ○訪問時資料・・・各事業の告知チラシ、教育資材、購買事業の領収書・請求書、経済事業の精算書等 ○訪問手段・・・職員一人当たり約46戸の組合員宅を月１回訪問している。

実績（人数・経費等）、効果等
○訪問件数・・・組合員約６千戸を月１回訪問。 ○効果・課題・・・意見・要望については各担当部署へ連絡し、迅速に対応している。クレームに関しては企画管理課に報告をし、全部署で課題を共有している。日中に訪問すると、組合員が田畑に居るケースが多く、会えないことが多い。夕方に訪問すると職員の勤務時間外になってしまうのが課題。

２．地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称				
共済事業に係るアンパンマンショーの開催				
取り組みの目的・コンセプト				
家族の来場を促し、イベントを通じてＪＡのさまざまな事業を知っていただく				
参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	
	地域住民	○		
取り組み内容				
○7月8日（日）ＪＡごしょつがるとＪＡつがるにしきたの合同イベントでアンパンマンショーをつがる市で開催する。 ○来場者は午前の部、午後の部共に約350名の予定（合計約700名）				
実績（人数・経費等）、効果等				
イベントは7月8日（日）につがる市柏ふるさと交流センターで実施した。午前の部・午後の部、合わせて約1,200人が来場した。				